

平成24年 2 月 20 日

政 務 調 査 報 告 書

栗山町議会議長 鵜 川 和 彦 様

栗山町議会議員

大井 賢 治

このたび、政務調査のため出張しましたので次のとおり報告します。

日 時	平成24年 2月 15日 : ~ :
視 察 先	岩手県 葛巻町
調査事項	葛巻町の自然エネルギーの活用と種類について
対 応 者	葛巻町役場 職員
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	葛巻町は人口約7,400名の町で、434.99km²の面積を所有し、基幹産業は酪農と林業で、第三セクターとして(社)葛巻町畜産開発公社と葛巻高原食品加工(株)(くずまきワイン)(株)グリーンテジくずまき(交流・宿泊施設)の3社がある。 今回の目的である自然エネルギーについては、新エネルギービジョンを1999年に立ち上げ、風力発電(15基)総出力22,200kWを袖山高原と上外川高原に設置されている。基本的には、1,000m級の高地で風が強い場所であるという事だ。次にバイオマスタウンプロジェクトとして、家畜糞尿の利活用として、バイオガスプラントの導入を図り、糞尿からメタンガスを分離させ、電気と熱利用をしている。 同町は森林の多い地でもあるため、木質バイオマスプロジェクトをつくり、バークペレットを製造し、ペレットストーブ、又、ペレットボイラーに広く活用し普及を計っている所だ。 又太陽光発電には、中学校や介護老人保健施設などに設置し、又、一般家庭にも普及させるよう新エネルギー等導入補助金をつくり、太陽光発電システム、木質ストーブ・ボイラー、LED照明、グリーンエネルギー関連などに、広く助成を行っている。そして、地熱利用型住宅も着手して、その成果も試験中である。

日 時	平成24年 2月16日 ~ :
視 察 先	岩手県 滝沢村
調査事項	滝沢村議会と改革について
対 応 者	議長、副議長、議員
1. 視察目的 2. 視察内容 ①背景 ②特徴 3. 主な質疑 4. 考 察 (感想、政策提 言、課題など)	滝沢村は、現在人口約53,000人を有し、第1次産業5.7%、第2次産業22.9%、第3次産業71.4%となっている。 2006年度 日本経営品質賞地方自治体部門を受賞、平成21年度 町村議会特別表彰を受賞している。 議会について、議員数は22名で、1人当りの人口は2,714人である。 常任委員会については、総務常任委員会、教育民生常任委員会、産業建設常任委員会、任期は2年だ。 各会派制、その人数で案分し選出している。 ただし、議長、副議長は、委員外議員として出席するとなっている。 会派については、4会派と共産党、無所属に分類される。 自治基本条例制定にあたり、議会の関わりについてだが、その経過は、平成23年8月に住民集会を開き、550名の参加があり、次回滝沢村価値創造会議創設に向け、参加募集し、37名を選び出す。 その後、先進事例による自治基本条例に向け動きはじめた。 その間、名称をたきざわ未来創造会議とし、現在進行中だ。 議会との関わりについては、議会運営理念という事で、議会基本条例調査特別委員会を設置し、3つの特別委員会をつくり、調査を開始しているところだ。

今後については、1年半ほど時間をかけ、住民や有識者などの懇談会なども開催し、作成していく予定で、自治基本条例に間接的に関わっていくとの事だ。